



2026 年 2 月 5 日

アクサ損害保険独自調査

「47都道府県 ドライバー節約意識調査2026」

ダイレクト型自動車保険を提供する アクサ損害保険株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長兼 CEO：田中 勇二郎）は、自家用車保有者で月に 1 回以上運転する全国の 20 歳～69 歳の男女を対象に、「47 都道府県 ドライバー節約意識調査 2026」を実施し、4,700 名の有効サンプルを集計し結果をまとめました。

アクサは、本調査の結果を踏まえ、今後もお客さまのニーズに応える商品・サービスの提供にも引き続き取り組むとともに、アクサグループの「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパス（存在意義）を体現してまいります。

【調査結果(抜粋)】

◆カーライフに関するコストの実感

・ カーライフに関するコストの実感

「車の維持費は家計を圧迫していると感じる」全体の 37.9% 1 位 秋田県、2 位 鳥取県、3 位 宮城県

「自動車関連の税金に不満がある」全体の 48.1% 1 位 栃木県、2 位 群馬県・愛知県・兵庫県

◆カーライフにおける節約意識

・ 都道府県別カーライフ節約意識度 自己評価は 100 点満点中で何点？

「自動車購入費の節約」は平均 51.0 点、都道府県別では 1 位 沖縄県 58.7 点

「ガソリン代の節約」は平均 55.0 点、都道府県別では 1 位 山形県 62.0 点

「ドライブ費用の節約」は平均 50.4 点、都道府県別では 1 位 山形県・沖縄県 54.7 点

「車検・メンテナンス費用の節約」は平均 50.0 点、都道府県別では 1 位 沖縄県 55.0 点

「自動車保険料の節約」は平均 48.4 点、都道府県別では 1 位 岩手県 55.5 点

◆カーライフにおける節約行動

・ 都道府県別のカーライフにおける節約術の実践率

「自動車購入費の節約」「ドライブ費用の節約」「車検・メンテナンス費用の節約」ではいずれも福井県が 1 位、「ガソリン代の節約」では岩手県、「自動車保険料の節約」では兵庫県が 1 位



◆カーライフの節約行動に対する自信

- エコドライブの自信

「エコドライブ（省燃費運転）は得意」 1位 福井県、2位 岡山県、3位 愛知県

◆冬の時期の節約意識

- 暖房の使用と燃費の関係についての認知

「ガソリン車では暖房を使っても燃費に大きく影響しないことを知っていた」

1位 福島県、2位 群馬県・愛知県

- スタッドレスタイヤを選ぶ基準

「価格より性能を優先したい」 1位 北海道・青森県・秋田県

「性能より価格を優先したい」 1位 山梨県、2位 福島県・群馬県

◆カーライフにおける節約の意向

- 今後行いたいカーライフにおける節約

「今後、カーライフにおける節約として“エコドライブ（省燃費運転）の徹底”を行いたい」

1位 山形県、2位 岩手県・福島県・長野県

◆カーライフにおける節約とエンタメ

- エコドライブ（省燃費運転）が上手そうな有名人

1位 「木村拓哉さん」、2位 「所ジョージさん」、3位 「鈴木亮平さん」

- 愛車を長く大切に乗り続けていそうな有名人

1位 「所ジョージさん」、2位 「伊藤かずえさん」、3位 「木村拓哉さん」

本調査の全文は、当社公式ホームページにも掲載しています。

URL：https://www.axa-direct.co.jp/auto/guide/researchinfo/carlife_savings2026.html

【調査概要】

- ◆ 調査タイトル：47 都道府県 ドライバー節約意識調査 2026
- ◆ 調査対象：自家用車保有者で月に1回以上運転する全国の20歳～69歳の男女
- ◆ 調査期間：2025年12月19日～12月24日
- ◆ 調査方法：インターネット調査
- ◆ 調査地域：全国
- ◆ 有効回答数：4,700 サンプル（各都道府県 男女×年代均等）
- ◆ 調査協力会社：ネットエイジア株式会社



【調査結果】

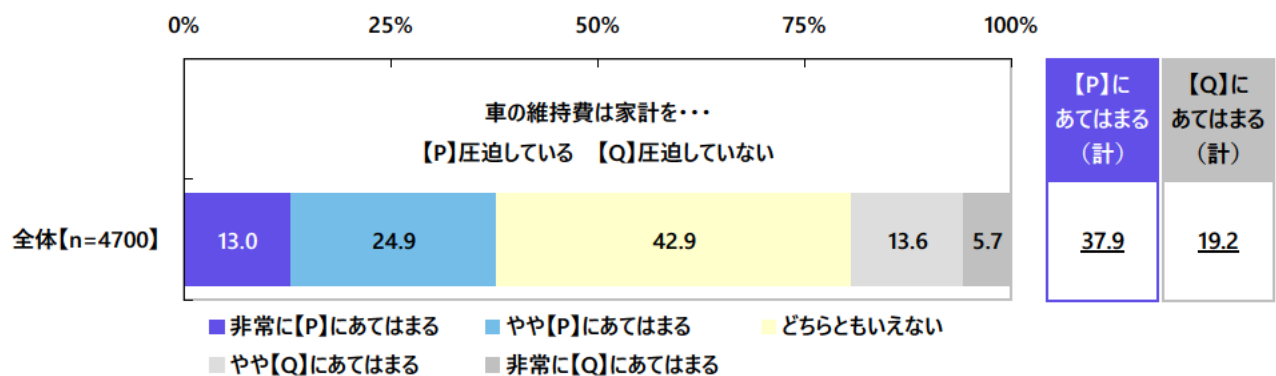
カーライフに関するコストの実感

自家用車保有者で月に1回以上運転する全国の20歳～69歳の男女4,700名（全回答者）に、
カーライフに関するコストの実感や節約に対する意識・実態について質問しました。

カーライフに関するコストの実感

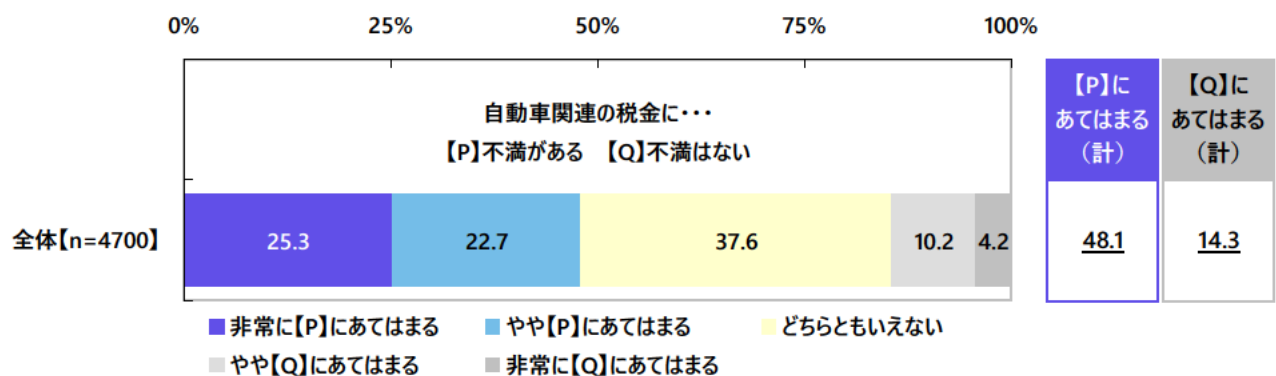
まず、カーライフに関するコストについて、自身はどちらにあてはまるか聞いたところ、《車の維持費は家計を…圧迫している 圧迫していない》では、『圧迫している（計）』（「非常にあてはまる」と「ややあてはまる」の合計、以下同様）は37.9%、『圧迫していない（計）』は19.2%、「どちらともいえない」は42.9%となりました。車の維持費が家計に重くのしかかっていると感じている人は少なくないようです。

◆カーライフに関するコストについて、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]



《自動車関連の税金に…不満がある 不満はない》では、『不満がある（計）』は48.1%、『不満はない（計）』は14.3%、「どちらともいえない」は37.6%と、自動車関連の税金に対し納得していない人が多い結果となりました。

◆カーライフに関するコストについて、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]





車の維持費が家計を圧迫していると感じている人の割合を都道府県別にみると、1位は秋田県（50.0%）、2位は鳥取県（49.0%）、3位は宮城県（48.0%）でした。

また、自動車関連の税金に不満がある人の割合を都道府県別にみると、1位は栃木県（61.0%）、2位は群馬県・愛知県・兵庫県（いずれも 57.0%）でした。

◆車の維持費が家計を圧迫していると感じている人の割合

[単一回答形式] ※都道府県別に上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

		%
1位	秋田県	50.0
2位	鳥取県	49.0
3位	宮城県	48.0
4位	北海道	47.0
4位	岩手県	47.0
4位	山梨県	47.0
7位	山形県	46.0
8位	茨城県	45.0
9位	石川県	44.0
9位	静岡県	44.0
9位	徳島県	44.0

◆自動車関連の税金に不満がある人の割合

[単一回答形式] ※都道府県別に上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

		%
1位	栃木県	61.0
2位	群馬県	57.0
2位	愛知県	57.0
2位	兵庫県	57.0
5位	福井県	54.0
5位	京都府	54.0
5位	福岡県	54.0
8位	福島県	52.0
8位	神奈川県	52.0
8位	鳥取県	52.0
8位	香川県	52.0

カーライフにおける節約意識

カーライフにおける節約意識について質問しました。

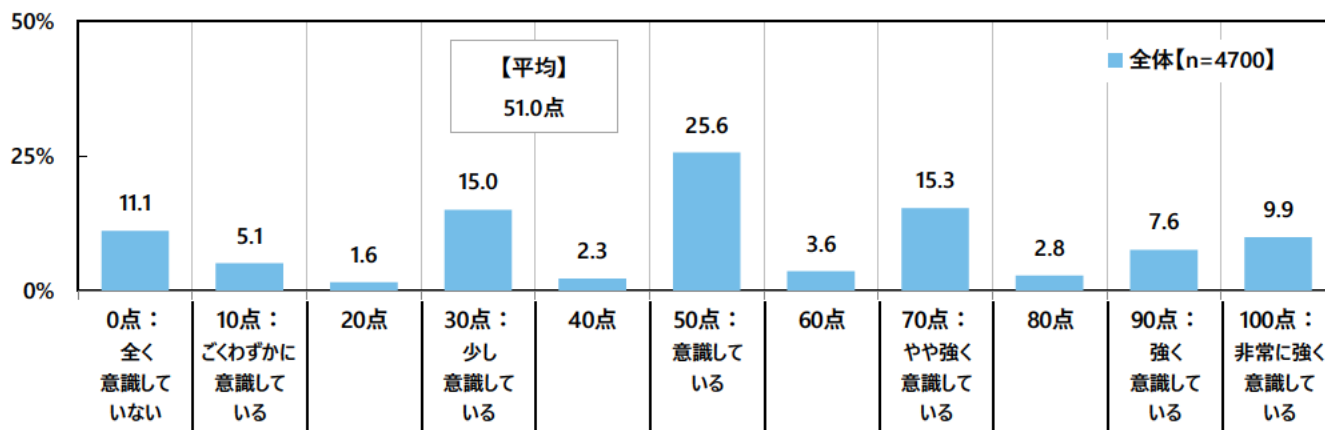
都道府県別カーライフ節約意識度

次に、カーライフにおける節約をどのくらい意識しているか、「全く意識していない：0点～非常に強く意識している：100点」として、節約意識度の自己評価を聞いたところ、【自動車購入費の節約（例：中古車を選ぶ、軽自動車を選ぶ、値引き交渉する など）】では「50点：意識している」（25.6%）に最も多くの回答が集まったほか、「30点：少し意識している」（15.0%）や「70点：やや強く意識している」（15.3%）にも回答が集まり、平均は51.0点でした。その他の項目でも同様の傾向がみられ、自己評価の平均をみると、【ガソリン代（EVの場合は充電代）の節約（例：安いガソリンスタンドを利用する、エコドライブ（省燃費運転）を心がける、エアコンの使用を控える など）】では55.0点、【ドライブ費用の節約（例：高速道路の利用を控える、高速道路は割引がある時間帯に利用する、安い駐車場を利用する など）】では50.4点、【車検・メンテナンス費用の節約（例：安い整備工場を利用する、こまめにメンテナンスする、洗車は自分でする など）】では50.0点、【自動車保険料の節約（例：安い保険に切り替える、補償内容を見直す など）】では48.4点でした。



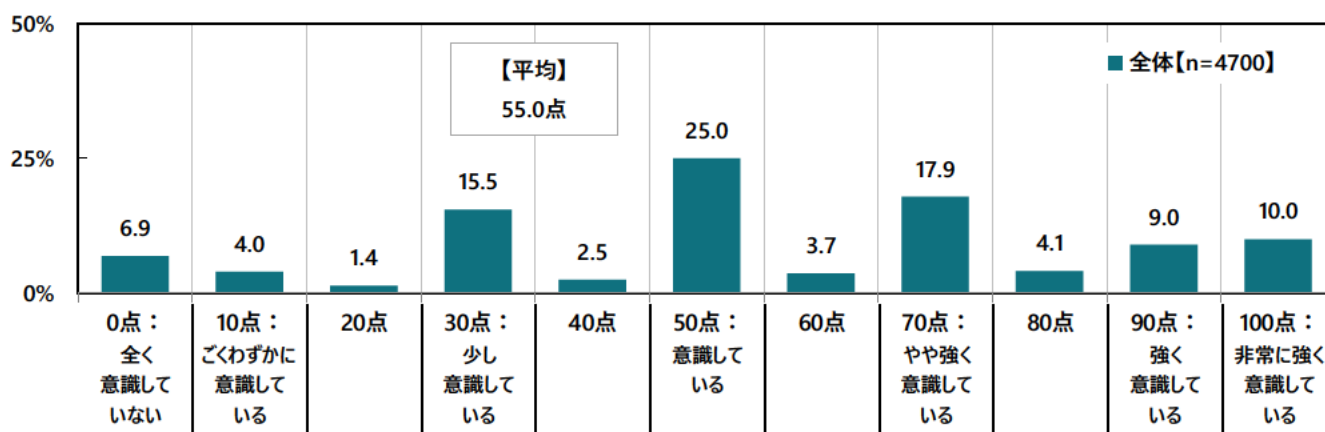
◆自動車購入費の節約をどのくらい意識しているか、「全く意識していない：0点～非常に強く意識している：100点」として、

自身にあてはまる点数 [単一回答形式]



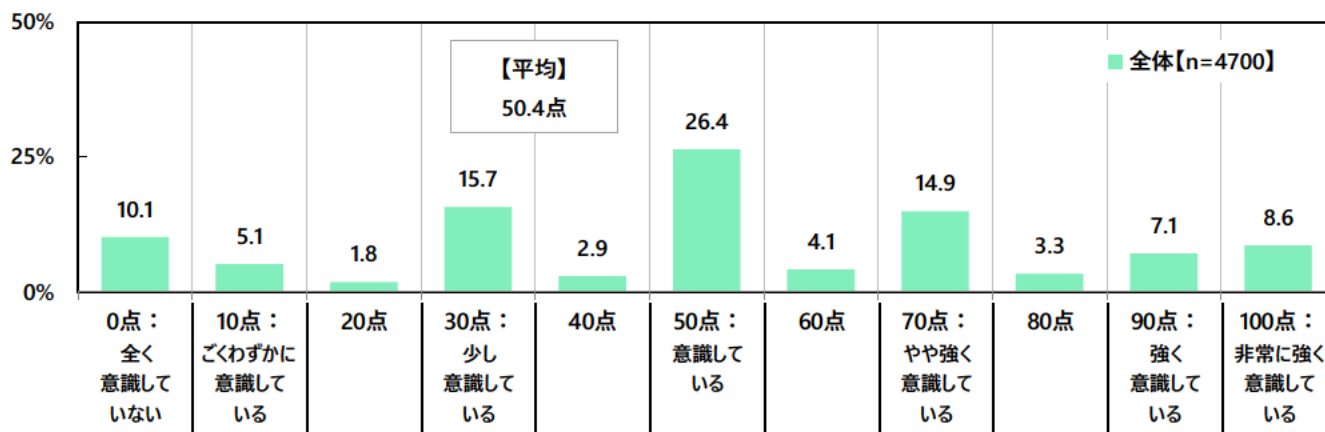
◆ガソリン代の節約をどのくらい意識しているか、「全く意識していない：0点～非常に強く意識している：100点」として、

自身にあてはまる点数 [単一回答形式]



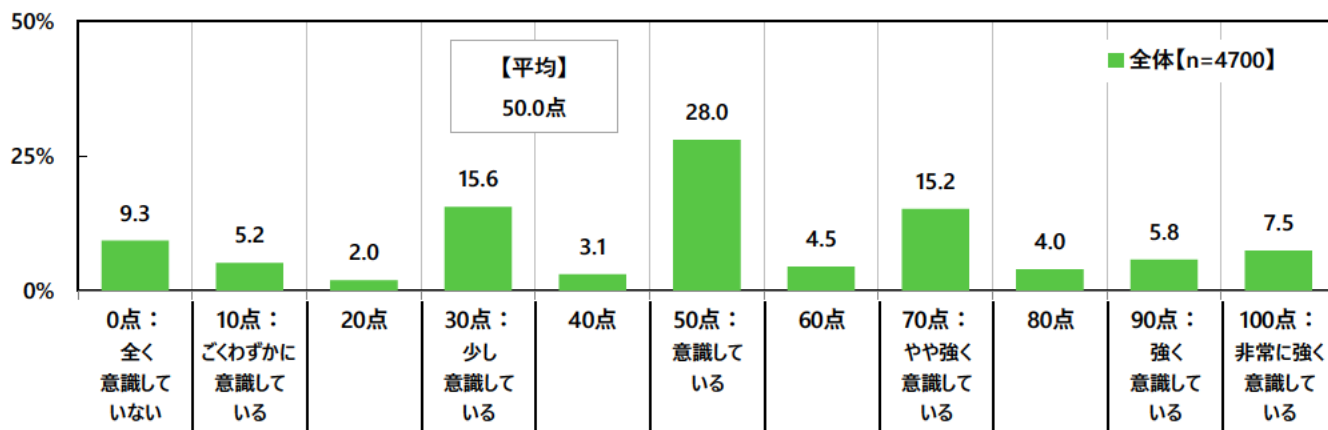
◆ドライブ費用の節約をどのくらい意識しているか、「全く意識していない：0点～非常に強く意識している：100点」として、

自身にあてはまる点数 [単一回答形式]

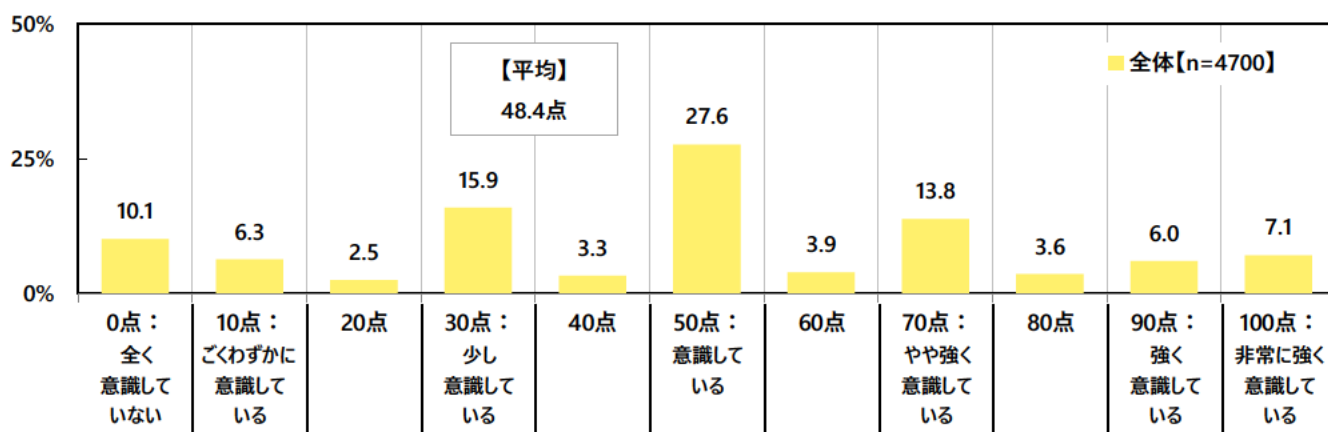




◆車検・メンテナンス費用の節約をどのくらい意識しているか、「全く意識していない：0点～非常に強く意識している：100点」として、自身にあてはまる点数 [単一回答形式]



◆自動車保険料の節約をどのくらい意識しているか、「全く意識していない：0点～非常に強く意識している：100点」として、自身にあてはまる点数 [単一回答形式]

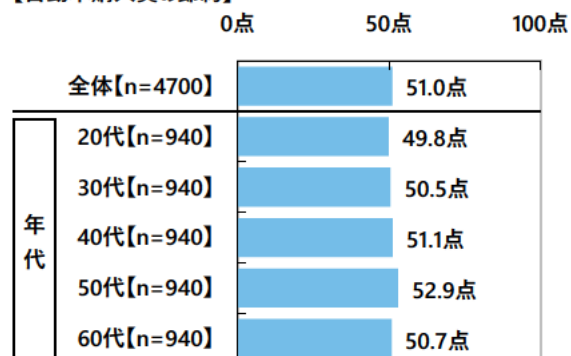


それぞれの項目について年代別にみると、自己評価の平均が最も高くなったのは、【自動車購入費の節約】では50代（52.9点）、【ガソリン代の節約】では60代（56.0点）、【ドライブ費用の節約】では20代（54.0点）、【車検・メンテナンス費用の節約】でも20代（51.6点）、【自動車保険料の節約】では50代（48.9点）でした。



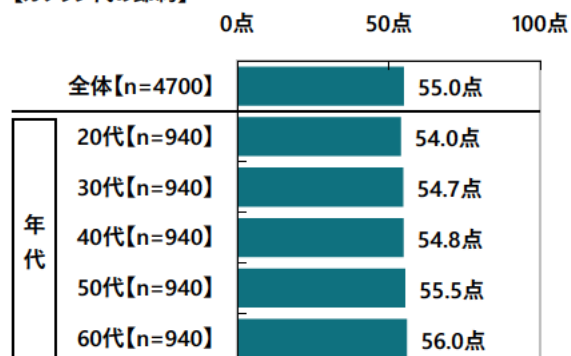
◆カーライフ節約意識度の平均 [単一回答形式]

【自動車購入費の節約】



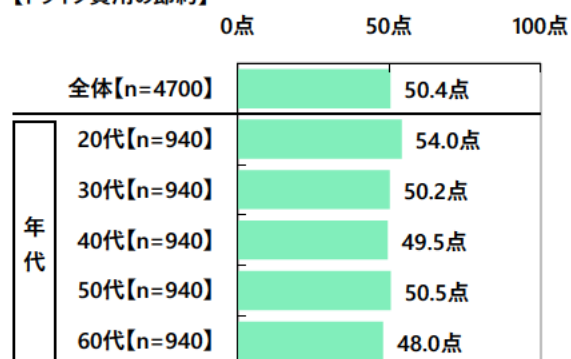
◆カーライフ節約意識度の平均 [単一回答形式]

【ガソリン代の節約】



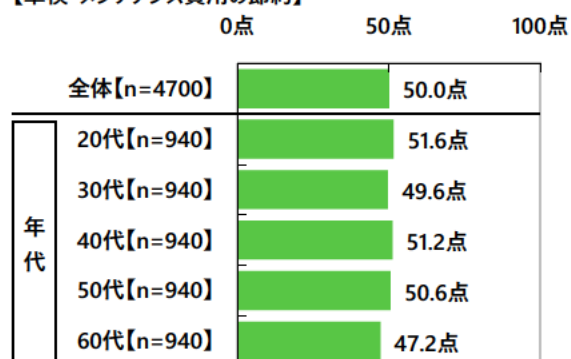
◆カーライフ節約意識度の平均 [単一回答形式]

【ドライブ費用の節約】



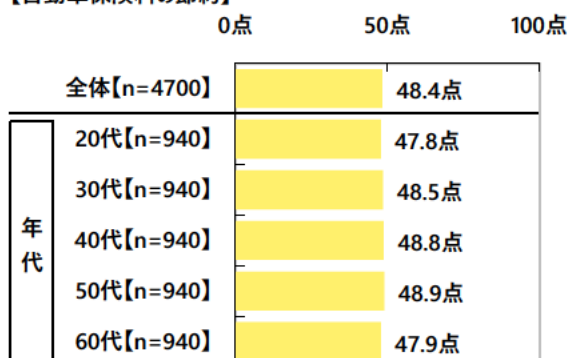
◆カーライフ節約意識度の平均 [単一回答形式]

【車検・メンテナンス費用の節約】



◆カーライフ節約意識度の平均 [単一回答形式]

【自動車保険料の節約】





それぞれの項目について自己評価の平均を都道府県別にみると、【自動車購入費の節約】では1位は沖縄県（58.7点）、2位は長野県（56.9点）、3位は群馬県（56.4点）、【ガソリン代の節約】では1位は山形県（62.0点）、2位は沖縄県（61.2点）、3位は長野県（60.8点）、【ドライブ費用の節約】では1位は山形県と沖縄県（いずれも54.7点）、3位は青森県（54.6点）、【車検・メンテナンス費用の節約】では1位は沖縄県（55.0点）、2位は山形県と福井県（いずれも54.6点）、【自動車保険料の節約】では1位は岩手県（55.5点）、2位は山形県（54.7点）、3位は青森県（53.9点）でした。

◆カーライフ節約意識度の平均 [各単一回答形式] ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	自動車購入費の節約	点
1位	沖縄県	58.7
2位	長野県	56.9
3位	群馬県	56.4
4位	山形県	56.2
5位	滋賀県	56.0
6位	島根県	55.6
7位	愛媛県	54.3
8位	福井県	54.2
8位	和歌山県	54.2
10位	石川県	54.0

各都道府県【n=100】

	ガソリン代の節約	点
1位	山形県	62.0
2位	沖縄県	61.2
3位	長野県	60.8
4位	岩手県	60.7
5位	福島県	60.1
6位	宮崎県	59.5
7位	鳥取県	59.1
8位	福井県	58.9
9位	青森県	58.8
10位	和歌山県	58.5

各都道府県【n=100】

	ドライブ費用の節約	点
1位	山形県	54.7
1位	沖縄県	54.7
3位	青森県	54.6
4位	福島県	54.4
4位	鳥取県	54.4
6位	奈良県	54.0
7位	富山県	53.8
7位	山梨県	53.8
9位	岩手県	53.7
10位	滋賀県	53.5

◆カーライフ節約意識度の平均 [各単一回答形式] ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	車検・メンテナンス費用の節約	点
1位	沖縄県	55.0
2位	山形県	54.6
2位	福井県	54.6
4位	岩手県	54.4
5位	大分県	53.8
6位	群馬県	53.6
6位	宮崎県	53.6
8位	青森県	53.4
9位	滋賀県	53.3
10位	島根県	53.2

各都道府県【n=100】

	自動車保険料の節約	点
1位	岩手県	55.5
2位	山形県	54.7
3位	青森県	53.9
4位	奈良県	53.8
5位	滋賀県	53.7
6位	沖縄県	53.3
7位	和歌山県	52.5
8位	大分県	52.0
9位	愛媛県	51.9
10位	栃木県	51.4



また、【自動車購入費の節約】【ガソリン代の節約】【ドライブ費用の節約】【車検・メンテナンス費用の節約】【自動車保険料の節約】の5項目の点数を合計した総合点（各項目100点満点の計500点満点）について、都道府県別に平均をみると、1位は沖縄県（282.9点）、2位は山形県（282.2点）、3位は岩手県（273.9点）、4位は青森県（272.7点）、5位は滋賀県（272.6点）でした。

◆カーライフ節約意識度の総合点の平均 ※都道府県別に上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	総合点	点
1位	沖縄県	282.9
2位	山形県	282.2
3位	岩手県	273.9
4位	青森県	272.7
5位	滋賀県	272.6
6位	奈良県	271.1
7位	和歌山県	270.9
8位	福井県	270.6
9位	鳥取県	268.5
10位	群馬県	268.0

カーライフにおける節約行動

カーライフにおける節約行動について質問しました。

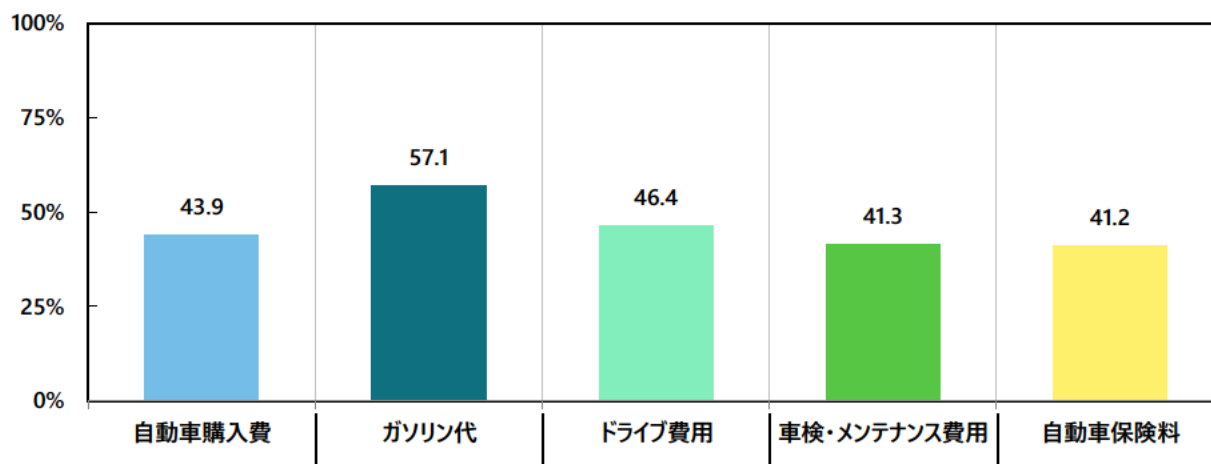
都道府県別のカーライフにおける節約術の実践率

カーライフにおける節約として、【自動車購入費の節約】【ガソリン代（EVの場合は充電代）の節約】【ドライブ費用の節約】【車検・メンテナンス費用の節約】【自動車保険料の節約】のそれぞれを行っているか聞いたところ、行っている人の割合は、【自動車購入費の節約】では43.9%、【ガソリン代（EVの場合は充電代）の節約】では57.1%、【ドライブ費用の節約】では46.4%、【車検・メンテナンス費用の節約】では41.3%、【自動車保険料の節約】では41.2%となりました。



◆カーライフにおける節約として行っている人の割合

全体【n=4700】



それぞれの項目について節約として行っている人の割合を都道府県別にみると、【自動車購入費の節約】では 1 位は福井県 (57.0%)、2 位は愛知県 (56.0%)、3 位は兵庫県と奈良県 (いずれも 54.0%)、【ガソリン代の節約】では 1 位は岩手県 (70.0%)、2 位は長野県 (66.0%)、3 位は愛知県 (65.0%)、【ドライブ費用の節約】では 1 位は福井県 (57.0%)、2 位は長野県と愛知県 (いずれも 56.0%)、【車検・メンテナンス費用の節約】では 1 位は福井県 (55.0%)、2 位は岩手県 (51.0%)、3 位は長野県と沖縄県 (いずれも 49.0%)、【自動車保険料の節約】では 1 位は兵庫県 (51.0%)、2 位は奈良県 (49.0%)、3 位は新潟県・愛知県・山口県 (いずれも 48.0%) でした。

◆カーライフにおける節約として行っている人の割合 ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	自動車購入費の節約	%
1位	福井県	57.0
2位	愛知県	56.0
3位	兵庫県	54.0
3位	奈良県	54.0
5位	愛媛県	51.0
6位	沖縄県	50.0
7位	静岡県	49.0
8位	長野県	48.0
8位	長崎県	48.0
10位	新潟県	47.0
10位	佐賀県	47.0

各都道府県【n=100】

	ガソリン代の節約	%
1位	岩手県	70.0
2位	長野県	66.0
3位	愛知県	65.0
4位	埼玉県	64.0
4位	福井県	64.0
4位	兵庫県	64.0
7位	愛媛県	63.0
8位	新潟県	62.0
9位	山梨県	61.0
9位	奈良県	61.0
9位	山口県	61.0

各都道府県【n=100】

	ドライブ費用の節約	%
1位	福井県	57.0
2位	長野県	56.0
2位	愛知県	56.0
4位	長崎県	54.0
5位	兵庫県	53.0
6位	岩手県	52.0
6位	鳥取県	52.0
6位	愛媛県	52.0
9位	新潟県	51.0
9位	奈良県	51.0
9位	福岡県	51.0
9位	沖縄県	51.0



◆カーライフにおける節約として行っている人の割合 ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	車検・メンテナンス費用の節約	%
1位	福井県	55.0
2位	岩手県	51.0
3位	長野県	49.0
3位	沖縄県	49.0
5位	愛知県	48.0
5位	長崎県	48.0
7位	山形県	47.0
7位	愛媛県	47.0
9位	滋賀県	46.0
9位	奈良県	46.0

各都道府県【n=100】

	自動車保険料の節約	%
1位	兵庫県	51.0
2位	奈良県	49.0
3位	新潟県	48.0
3位	愛知県	48.0
3位	山口県	48.0
6位	福井県	47.0
6位	滋賀県	47.0
8位	長野県	46.0
8位	広島県	46.0
8位	福岡県	46.0

カーライフにおける節約として、最も意識して行っていることを聞いたところ、【自動車購入費の節約として行っていること】では「値引き交渉をする」や「中古車を購入する」、「展示車や新古車を狙う」、「軽自動車を選ぶ」、「オプションを極力つけない」、「相見積もりをする」、「新車で購入し長く乗る」、「【ガソリン代（EVの場合は充電代）の節約として行っていること】では「アイドリングを極力控える」や「アクセルの踏み方を工夫」、「“急”のつく運転をしない」、「エコドライブを心がける」、「エアコンをなるべく使わない」、「ガソリンが安いところで入れる」、「セルフスタンドを利用する」、「クーポンを使う」、「【ドライブ費用の節約として行っていること】では「ETC 割引の利用」や「できるだけ高速道路は使わない」、「夜間割引を使う」、「ルートをしっかり練る」、「なるべく安い駐車場を選ぶ」、「時間があれば下道を使う」といった節約術が挙げられました。

また、【車検・メンテナンス費用の節約として行っていること】では「安いところを探す」や「相見積もりをとる」、「知り合いに頼む」、「メンテナンスパックに入る」、「自分でできることは自分でする」、「オイル交換をこまめに行う」、「タイヤ交換は自分で行う」、「ディーラー以外に頼む」、「【自動車保険料の節約として行っていること】では「ネット保険にする」や「定期的に見直す」、「複数年契約にする」、「保険料が安いところに変更する」、「特約を減らす」、「等級を維持する」、「事故を起こさないようにする」、「比較サイトを使う」といった節約術がみられました。



◆カーライフにおける節約として、最も意識して行っていること [各自由回答形式] ※回答を抜粋して表示

【自動車購入費の節約】

値引き交渉をする
ディーラーと何度も交渉
中古車を購入する
展示車や新古車を狙う
軽自動車を選ぶ
オプションを極力つけない
相見積もりをする
いろいろなサイトを比較する
新車で購入し長く乗る
なるべく安い車を探す
買う時期を見定める
コスパの良い車を買う

【ガソリン代の節約】

アイドリングを極力控える
アクセルの踏み方を工夫
“急”のつく運転をしない
エコドライブを心がける
エンジンブレーキを使う
エアコンをなるべく使わない
あまり遠出をしない
ガソリンが安いところに入れる
セルフスタンドを利用する
ガソリンスタンドの会員になる
キャンペーン時に給油する
クーポンを使う

【ドライブ費用の節約】

ETC割引の利用
できるだけ高速道路は使わない
有料道路の使用を減らす
夜間割引を使う
最短ルートを検索する
ルートをしっかり練る
ドライブ経路の事前検討
なるべく安い駐車場を選ぶ
時間があれば下道を使う
燃費を気にして運転する
必要以上に車に頼らない
不要な外出をしない

◆カーライフにおける節約として、最も意識して行っていること [各自由回答形式] ※回答を抜粋して表示

【車検・メンテナンス費用の節約】

安いところを探す
相見積もりをとる
知り合いに頼む
ユーザー車検を利用する
メンテナンスパックに入る
自分でできることは自分でする
こまめに点検する
オイル交換をこまめに行う
クーポンを活用する
タイヤ交換は自分で行う
ディーラー以外に頼む
最低限で済ます

【自動車保険料の節約】

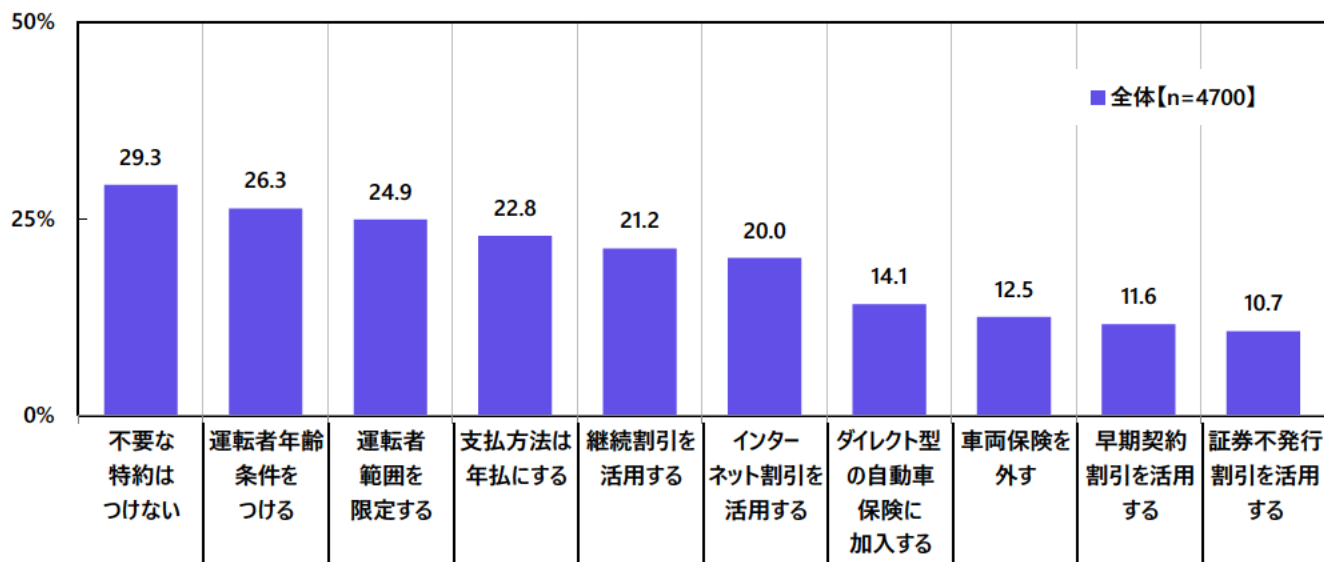
ネット保険にする
定期的に見直す
更新時に見直しをする
複数年契約にする
保険料が安いところに変更する
最低限の保障にする
特約を減らす
車両保険を外す
等級を維持する
ゴールド免許を維持する
事故を起こさないようにする
比較サイトを使う

自動車保険料の節約

自動車保険料の節約としてどのようなことを行っているか聞いたところ、「不要な特約はつけない」（29.3%）が最も高くなり、「運転者年齢条件をつける」（26.3%）、「運転者範囲を限定する」（24.9%）、「支払方法は年払にする」（22.8%）、「継続割引を活用する」（21.2%）が続きました。



◆自動車保険料の節約としてどのようなことを行っているか [複数回答形式] ※上位10位までを表示



上位 3 位に挙がった項目について都道府県別にみると、「不要な特約はつけない」では 1 位は長野県 (41.0%)、2 位は佐賀県 (38.0%)、3 位は神奈川県 (37.0%)、「運転者年齢条件をつける」では 1 位は栃木県 (35.0%)、2 位は山形県と岡山県 (いずれも 34.0%)、「運転者範囲を限定する」では 1 位は茨城県 (33.0%)、2 位は宮崎県 (31.0%)、3 位は鳥取県と熊本県 (いずれも 30.0%) でした。

◆自動車保険料の節約としてどのようなことを行っているか [複数回答形式] ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	不要な特約はつけない	%
1位	長野県	41.0
2位	佐賀県	38.0
3位	神奈川県	37.0
4位	岩手県	36.0
4位	兵庫県	36.0
4位	奈良県	36.0
7位	愛媛県	35.0
8位	秋田県	34.0
8位	茨城県	34.0
10位	群馬県	33.0
10位	福井県	33.0

各都道府県【n=100】

	運転者年齢条件をつける	%
1位	栃木県	35.0
2位	山形県	34.0
2位	岡山県	34.0
4位	岩手県	33.0
5位	愛知県	32.0
6位	三重県	31.0
6位	佐賀県	31.0
6位	宮崎県	31.0
9位	秋田県	30.0
10位	福島県	29.0
10位	群馬県	29.0
10位	岐阜県	29.0
10位	鳥取県	29.0
10位	香川県	29.0

各都道府県【n=100】

	運転者範囲を限定する	%
1位	茨城県	33.0
2位	宮崎県	31.0
3位	鳥取県	30.0
3位	熊本県	30.0
5位	岩手県	29.0
5位	埼玉県	29.0
5位	長野県	29.0
8位	山形県	28.0
8位	千葉県	28.0
8位	岡山県	28.0
8位	香川県	28.0
8位	長崎県	28.0



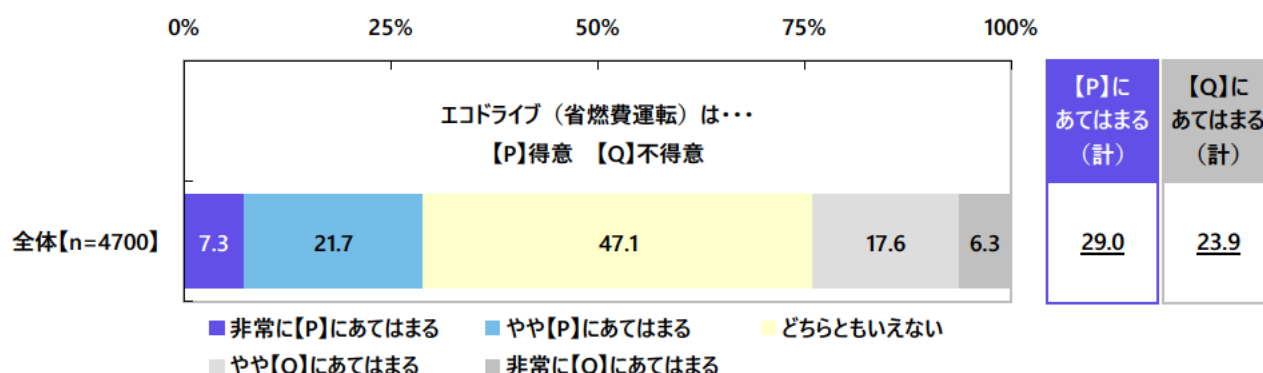
カーライフの節約行動に対する自信

カーライフの節約行動に対する自信について質問しました。

エコドライブ・車購入時の値引き交渉の自信

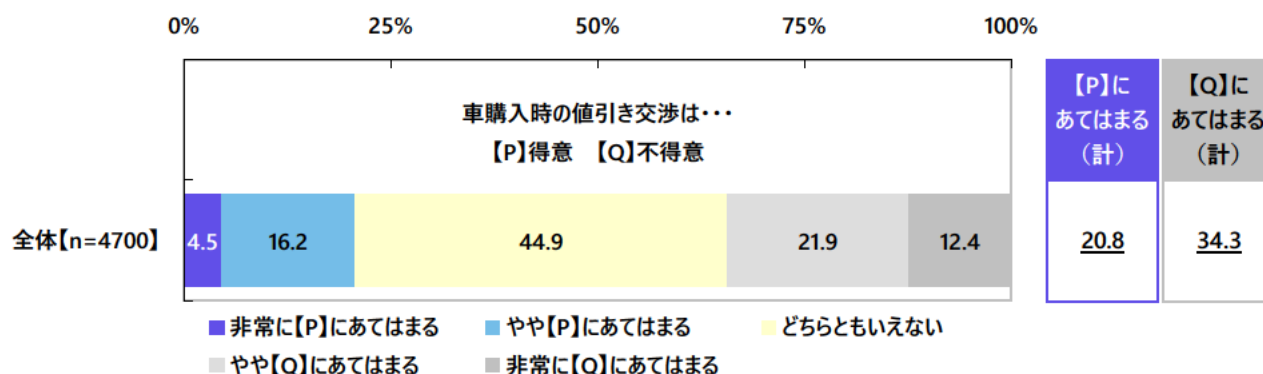
カーライフの節約行動について、自身はどちらにあてはまるか聞いたところ、《エコドライブ（省燃費運転）は…得意 不得意》では、『得意（計）』は 29.0%、『不得意（計）』は 23.9%、「どちらともいえない」は 47.1%となりました。エコドライブとは、燃料消費量や CO2 排出量を減らす“運転技術”や“心がけ”をいい、地球温暖化や資源の有効活用にもつながる行動として環境省も推奨しています。そのエコドライブについて、自信があるという人は少数派のようです。

◆カーライフの節約行動について、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]



また、《車購入時の値引き交渉は…得意 不得意》では、『得意（計）』は 20.8%、『不得意（計）』は 34.3%、「どちらともいえない」は 44.9%となりました。

◆カーライフの節約行動について、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]





エコドライブ（省燃費運転）が得意と感じている人の割合を都道府県別にみると、1位は福井県（40.0%）、2位は岡山県（37.0%）、3位は愛知県（36.0%）となりました。

また、車購入時の値引き交渉が得意と感じている人の割合を都道府県別にみると、1位は岐阜県（33.0%）、2位は山梨県・愛知県・奈良県（いずれも 28.0%）となりました。

◆エコドライブ（省燃費運転）が得意と感じている人の割合

[単一回答形式] ※都道府県別に上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

		%
1位	福井県	40.0
2位	岡山県	37.0
3位	愛知県	36.0
4位	岩手県	35.0
4位	埼玉県	35.0
4位	広島県	35.0
4位	長崎県	35.0
8位	北海道	33.0
8位	山形県	33.0
8位	新潟県	33.0
8位	奈良県	33.0
8位	熊本県	33.0

◆車購入時の値引き交渉が得意と感じている人の割合

[単一回答形式] ※都道府県別に上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

		%
1位	岐阜県	33.0
2位	山梨県	28.0
2位	愛知県	28.0
2位	奈良県	28.0
5位	京都府	26.0
6位	岩手県	25.0
6位	茨城県	25.0
6位	東京都	25.0
6位	長野県	25.0
6位	和歌山県	25.0
6位	香川県	25.0

ガソリン代の変化

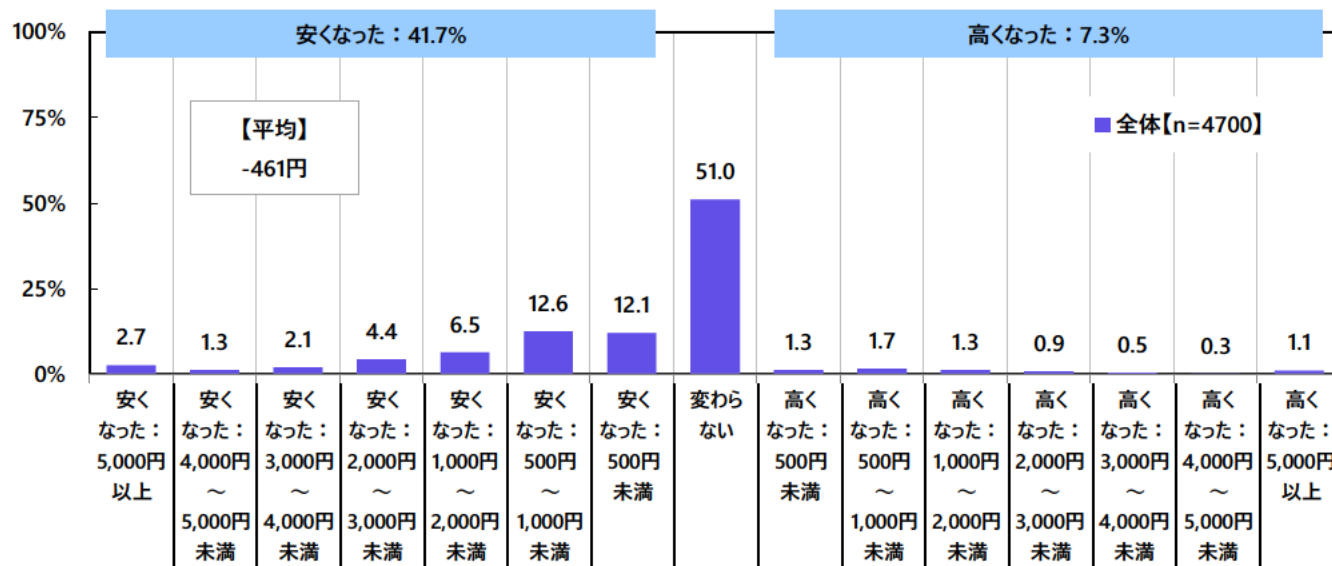
ガソリン代の変化の実感について質問しました。

ガソリン代の変化の実感

自身の 2025 年 12 月のガソリン代（EV の場合は充電料金）は 1 ヶ月前と比べてどのように変化したか聞いたところ、「安くなった」は41.7%、「変わらない」は51.0%、「高くなった」は7.3%となり、平均は-461円（461円安くなった）でした。



◆自身の2025年12月のガソリン代（EVの場合は充電代）は1ヶ月前と比べてどのように変化したか [単一回答形式]



変化した金額の平均（安くなった金額順）を都道府県別にみると、1位は京都府（-830円）、2位は長崎県（-823円）、3位は宮城県（-715円）でした。

◆自身の2025年12月のガソリン代は1ヶ月前と比べてどのように変化したか

[単一回答形式]

※変化した金額の平均を都道府県別に、安くなった金額順に上位10位までを表示

各都道府県 [n=100]

		円
1位	京都府	-830円
2位	長崎県	-823円
3位	宮城県	-715円
4位	高知県	-700円
4位	大分県	-700円
4位	沖縄県	-700円
7位	和歌山県	-683円
8位	青森県	-680円
9位	福井県	-638円
10位	愛媛県	-633円



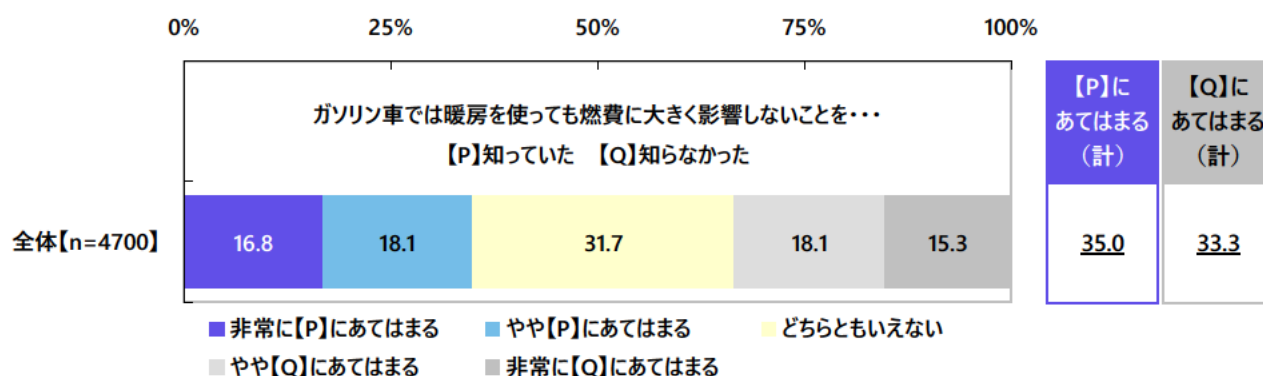
冬の時期の節約意識

冬の時期の運転に関する節約意識について質問しました。

暖房の使用と燃費の関係についての認知

冬の時期の運転について、自身はどちらにあてはまるか聞いたところ、《ガソリン車では暖房を使っても燃費に大きく影響しないことを…知っていた 知らなかった》では、『知っていた（計）』は 35.0%、『知らなかった（計）』は 33.3%、「どちらともいえない」は 31.7%となりました。ガソリン車の暖房については、エンジンの排熱を利用しているため、燃費にほとんど影響はしません。そのことを知っていた人は少数派のようです。

◆冬の時期の運転について、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]



ガソリン車では暖房を使っても燃費に大きく影響しないことを知っていた人の割合を都道府県別にみると、1位は福島県（47.0%）、2位は群馬県と愛知県（いずれも 46.0%）となりました。

◆ガソリン車では暖房を使っても燃費に大きく影響しないことを知っていた人の割合 [単一回答形式] ※都道府県別に上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

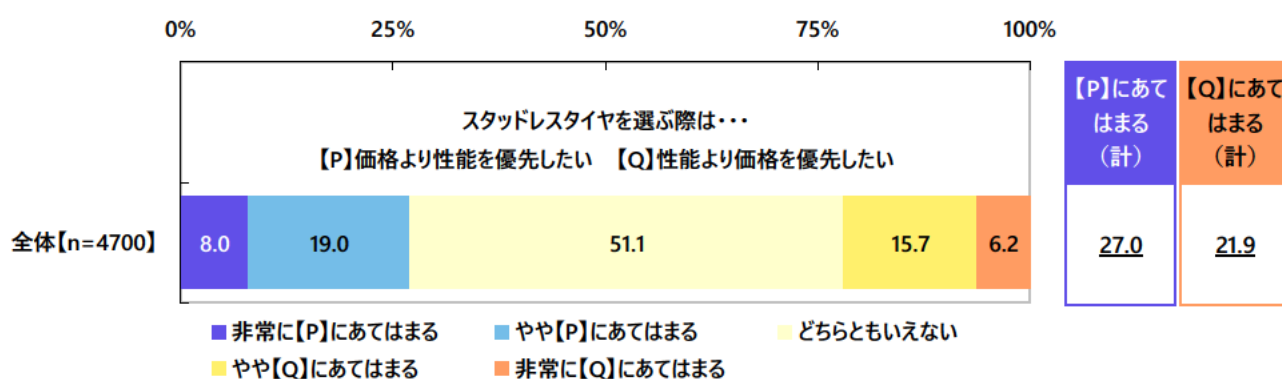
		%
1位	福島県	47.0
2位	群馬県	46.0
2位	愛知県	46.0
4位	岩手県	43.0
5位	岡山県	41.0
6位	北海道	40.0
6位	栃木県	40.0
6位	富山県	40.0
6位	愛媛県	40.0
10位	山梨県	39.0
10位	奈良県	39.0
10位	和歌山県	39.0
10位	広島県	39.0
10位	香川県	39.0



スタッドレスタイヤを選ぶ基準

「スタッドレスタイヤを選ぶ際は…価格より性能を優先したい 性能より価格を優先したい」では、『価格より性能を優先したい（計）』は 27.0%、『性能より価格を優先したい（計）』は 21.9%、「どちらともいえない」は 51.1%となりました。

◆冬の時期の運転について、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]



都道府県別にみると、スタッドレスタイヤを選ぶ際に価格より性能を優先したい人の割合では、1 位は北海道・青森県・秋田県（いずれも 43.0%）と、冬の時期の積雪量が多い道県が 1 位に挙がりました。他方、スタッドレスタイヤを選ぶ際に性能より価格を優先したい人の割合では、1 位は山梨県（33.0%）、2 位は福島県と群馬県（いずれも 31.0%）となりました。

◆スタッドレスタイヤを選ぶ際は、価格より性能を優先したいか、性能より価格を優先したいか

[単一回答形式] ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	価格より性能を優先したい	%
1位	北海道	43.0
1位	青森県	43.0
1位	秋田県	43.0
4位	石川県	38.0
5位	岩手県	37.0
5位	新潟県	37.0
7位	山形県	35.0
8位	岐阜県	33.0
9位	鳥取県	32.0
10位	宮城県	31.0
10位	福井県	31.0
10位	島根県	31.0

各都道府県【n=100】

	性能より価格を優先したい	%
1位	山梨県	33.0
2位	福島県	31.0
2位	群馬県	31.0
4位	滋賀県	29.0
5位	長野県	28.0
5位	岐阜県	28.0
7位	茨城県	27.0
7位	福井県	27.0
9位	三重県	26.0
10位	宮城県	25.0
10位	富山県	25.0



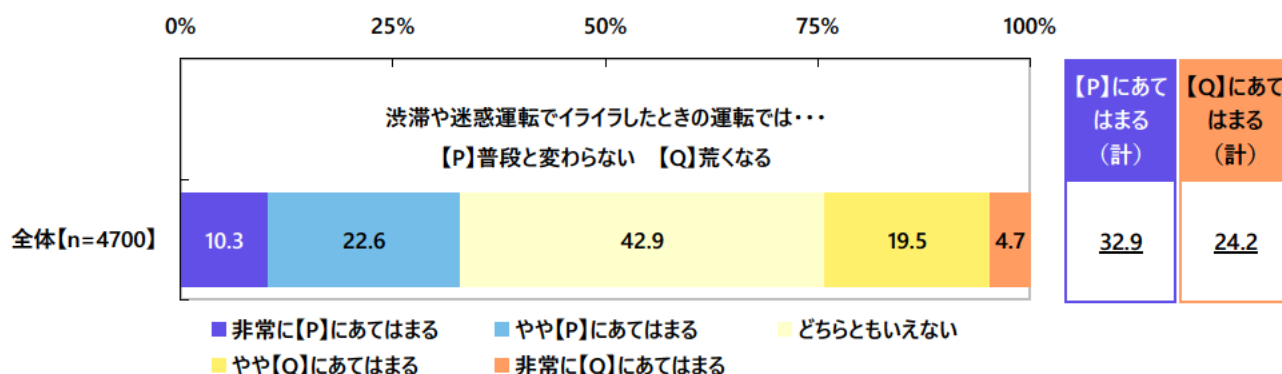
運転中のイライラとストレス解消

節約にもつながるエコドライブ（省燃費運転）の心がけにあたっては、運転中にイライラしないことが大切です。そこで、運転中におけるイライラとストレス解消方法について質問しました。

運転中のイライラによる運転の実態

渋滞や迷惑運転に遭遇したときの運転について、自身はどちらにあてはまるか聞いたところ、《渋滞や迷惑運転でイライラしたときの運転では...普段と変わらない 荒くなる》では、『普段と変わらない（計）』は 32.9%、『荒くなる（計）』は 24.2%となりました。運転中、イラっとするようなことに遭遇した際、運転が普段よりも荒くなってしまう人は少なくないようです。

◆渋滞や迷惑運転に遭遇したときの運転について、自身は【P】と【Q】のどちらにあてはまるか [単一回答形式]



都道府県別にみると、渋滞や迷惑運転に遭遇したときの運転でも普段と変わらない人の割合では、1 位は埼玉県と広島県（いずれも 41.0%）、3 位は山梨県と兵庫県（いずれも 40.0%）、渋滞や迷惑運転に遭遇したときの運転では荒くなる人の割合では、1 位は徳島県（35.0%）、2 位は富山県（33.0%）、3 位は石川県（31.0%）となりました。

◆渋滞や迷惑運転に遭遇したときの運転では、普段と変わらないか、荒くなるか

[単一回答形式] ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	普段と変わらない	%
1位	埼玉県	41.0
1位	広島県	41.0
3位	山梨県	40.0
3位	兵庫県	40.0
5位	岩手県	38.0
5位	秋田県	38.0
7位	北海道	37.0
7位	青森県	37.0
7位	福島県	37.0
7位	山口県	37.0

各都道府県【n=100】

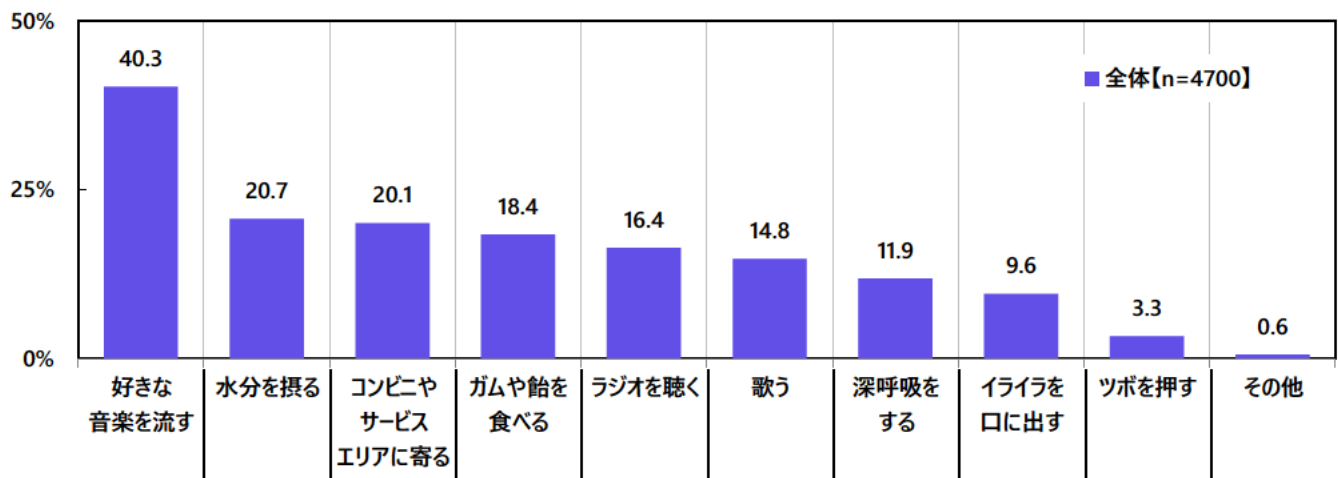
	荒くなる	%
1位	徳島県	35.0
2位	富山県	33.0
3位	石川県	31.0
4位	鳥取県	30.0
4位	長崎県	30.0
6位	北海道	29.0
6位	岩手県	29.0
6位	沖縄県	29.0
9位	山形県	28.0
9位	山梨県	28.0
9位	岐阜県	28.0
9位	香川県	28.0



運転中のストレス解消方法

運転中のストレス解消として行っていることを聞いたところ、「好きな音楽を流す」（40.3%）が最も高くなりました。お気に入りの曲を流して、運転中のイライラを緩和している人が多いようです。次いで高くなったのは、「水分を摂る」（20.7%）、「コンビニやサービスエリアに寄る」（20.1%）、「ガムや飴を食べる」（18.4%）、「ラジオを聴く」（16.4%）、「歌う」（14.8%）でした。

◆運転中のストレス解消として行っていること [複数回答形式]



音楽や歌に関する項目について都道府県別にみると、「好きな音楽を流す」では1位は福井県と三重県（いずれも48.0%）、3位は青森県と福岡県（いずれも47.0%）、「歌う」では1位は山形県（23.0%）、2位は秋田県と千葉県（いずれも21.0%）でした。

◆運転中のストレス解消として行っていること [複数回答形式]

※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	好きな音楽を流す	%
1位	福井県	48.0
1位	三重県	48.0
3位	青森県	47.0
3位	福岡県	47.0
5位	岩手県	46.0
6位	茨城県	45.0
6位	埼玉県	45.0
6位	長野県	45.0
9位	宮崎県	44.0
10位	和歌山県	43.0
10位	沖縄県	43.0

各都道府県【n=100】

	歌う	%
1位	山形県	23.0
2位	秋田県	21.0
2位	千葉県	21.0
4位	栃木県	20.0
4位	長野県	20.0
6位	鳥取県	19.0
6位	島根県	19.0
6位	沖縄県	19.0
9位	福井県	18.0
9位	山梨県	18.0
9位	三重県	18.0
9位	長崎県	18.0



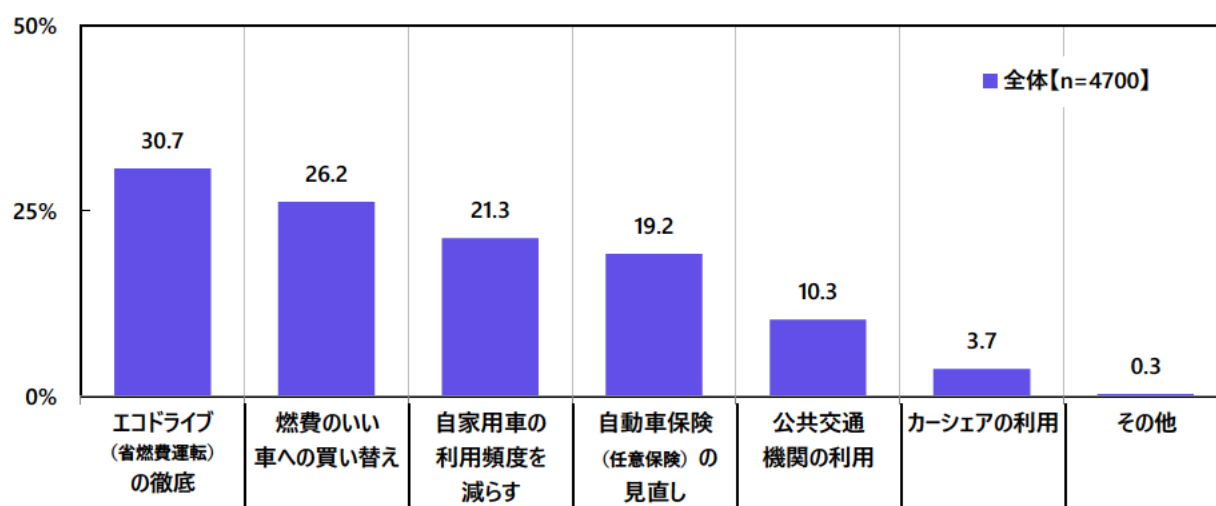
カーライフにおける節約の意向

今後行うカーライフの節約について質問しました。

今後行いたいカーライフにおける節約

今後、カーライフにおける節約を行う場合に行いたいことを聞いたところ、「エコドライブ（省燃費運転）の徹底」（30.7%）が最も高くなり、「燃費のいい車への買い替え」（26.2%）、「自家用車の利用頻度を減らす」（21.3%）、「自動車保険（任意保険）の見直し」（19.2%）、「公共交通機関の利用」（10.3%）が続きました。

◆今後、カーライフにおける節約を行う場合に行いたいこと [複数回答形式]



上位3位に挙がった項目について都道府県別にみると、「エコドライブ（省燃費運転）の徹底」では1位は山形県（41.0%）、2位は岩手県・福島県・長野県（いずれも39.0%）、「燃費のいい車への買い替え」では1位は岡山県と高知県（いずれも35.0%）、3位は山形県と埼玉県（いずれも34.0%）、「自家用車の利用頻度を減らす」では1位は山形県と島根県（いずれも31.0%）、3位は京都府（30.0%）でした。



◆今後、カーライフにおける節約を行う場合に行いたいこと [複数回答形式] ※都道府県別に各上位10位までを表示

各都道府県【n=100】

	エコドライブ（省燃費運転）の徹底	%
1位	山形県	41.0
2位	岩手県	39.0
2位	福島県	39.0
2位	長野県	39.0
5位	埼玉県	38.0
6位	熊本県	36.0
7位	青森県	35.0
8位	新潟県	34.0
8位	福井県	34.0
8位	愛知県	34.0
8位	三重県	34.0
8位	鳥取県	34.0
8位	鹿児島県	34.0

各都道府県【n=100】

	燃費のいい車への買い替え	%
1位	岡山県	35.0
1位	高知県	35.0
3位	山形県	34.0
3位	埼玉県	34.0
5位	茨城県	33.0
5位	沖縄県	33.0
7位	奈良県	32.0
8位	鹿児島県	31.0
9位	鳥取県	30.0
10位	長野県	29.0
10位	静岡県	29.0
10位	愛知県	29.0
10位	滋賀県	29.0
10位	香川県	29.0
10位	大分県	29.0

各都道府県【n=100】

	自家用車の利用頻度を減らす	%
1位	山形県	31.0
1位	島根県	31.0
3位	京都府	30.0
4位	神奈川県	28.0
5位	大阪府	27.0
6位	高知県	26.0
7位	北海道	25.0
7位	青森県	25.0
7位	岩手県	25.0
7位	福井県	25.0
7位	静岡県	25.0
7位	山口県	25.0

カーライフにおける節約とエンタメ

カーライフにおける節約をテーマに、有名人や曲について質問しました。

エコドライブが上手そうな有名人・愛車を長く大切に乗り続けていそうな有名人

エコドライブ（省燃費運転）が上手そうな有名人とその有名人を挙げた理由を聞いたところ、1 位「木村拓哉さん」（運転が好きで、車も大事にしていそうだから／家族でエコの意識が高そうだから）、2 位「所ジョージさん」（自動車の技術に精通していて運転にも気を遣っていそうだから／車に優しい運転をしていそうだから）、3 位「鈴木亮平さん」（環境のことを考えて生活していそうだから／知的で落ち着いているから）、4 位「福山雅治さん」（丁寧な運転を心がけていそうだから／優しそうだから）、5 位「春日俊彰さん」（普段から節約を心がけているから／節約意識が高い人だから）となりました。

また、愛車を長く大切に乗り続けていそうな有名人とその有名人を挙げた理由を聞いたところ、「所ジョージさん」（自分でメンテナンスをし、大切に乗り続けていそうだから／古いものに愛情をかけて大切に使いそうだから）がダントツとなり、2 位「伊藤かずえさん」（愛車に長年乗り続けているから／長い間、車を大事にして乗り続けているから）、3 位「木村拓哉さん」（物を大事にしていそうだから／こだわりが強く、だからこそ乗り続けていそうだから）、4 位「高市早苗さん」（実際に長く愛車を大切にしているから／愛車に長く乗っているから）、5 位「ヒロミさん」（車が好きそうだから／道具や人との付き合いを大切にしているから）「出川哲朗さん」（物を大事にしそうだから／一途な人だから）と続きました。



◆エコドライブ（省燃費運転）が上手そうな名人
〔自由回答形式〕 ※上位10位までを表示

全体【n=4700】

		名
1位	木村拓哉	99
2位	所ジョージ	56
3位	鈴木亮平	48
4位	福山雅治	40
5位	春日俊彰	33
6位	大泉洋	22
7位	大谷翔平	19
8位	タモリ	13
9位	イチロー	11
9位	近藤真彦	11

◆愛車を長く大切に乗り続けていそうな名人
〔自由回答形式〕 ※上位10位までを表示

全体【n=4700】

		名
1位	所ジョージ	491
2位	伊藤かずえ	208
3位	木村拓哉	74
4位	高市早苗	61
5位	ヒロミ	25
5位	出川哲朗	25
7位	おぎやはぎ	18
8位	堺正章	17
9位	タモリ	16
9位	明石家さんま	16

運転中のストレス解消のために聴きたい曲

運転中のストレス解消のために聴きたい曲を聞いたところ、1位は「ライラック（Mrs. GREEN APPLE）」、2位は「ケセラセラ（Mrs. GREEN APPLE）」と、Mrs. GREEN APPLE の曲が TOP2 に並びました。次いで、3位「ultra soul（B'z）」、4位「中央フリーウェイ（松任谷由実）」、5位「きらり（藤井風）」となりました。年代別にみると、20代では「ケセラセラ（Mrs. GREEN APPLE）」、30代では「きらり（藤井風）」、40代では「ultra soul（B'z）」、50代では「ultra soul（B'z）」「中央フリーウェイ（松任谷由実）」、60代では「中央フリーウェイ（松任谷由実）」が1位でした。

◆運転中のストレス解消のために聴きたい曲 〔自由回答形式〕 ※全体は上位10位まで、年代別は上位2位までを表示

全体【n=4700】

		名
1位	ライラック（Mrs. GREEN APPLE）	28
2位	ケセラセラ（Mrs. GREEN APPLE）	24
3位	ultra soul（B'z）	22
4位	中央フリーウェイ（松任谷由実）	21
5位	きらり（藤井風）	15
6位	マリーゴールド（あいみょん）	14
7位	希望の轍（サザンオールスターズ）	12
8位	ロビンソン（スピッツ）	11
9位	TSUNAMI（サザンオールスターズ）	10
10位	Happiness（嵐）	9
10位	カリスマックス（Snow Man）	9
10位	勝手にシンドバッド（サザンオールスターズ）	9

20代【n=940】

1位	ケセラセラ（Mrs. GREEN APPLE）
2位	ライラック（Mrs. GREEN APPLE）

30代【n=940】

1位	きらり（藤井風）
2位	カリスマックス（Snow Man）

40代【n=940】

1位	ultra soul（B'z）
2位	ライラック（Mrs. GREEN APPLE）

50代【n=940】

1位	ultra soul（B'z）
1位	中央フリーウェイ（松任谷由実）

60代【n=940】

1位	中央フリーウェイ（松任谷由実）
2位	ライラック（Mrs. GREEN APPLE）



本調査結果の利用条件

本ページ内に掲載されている図版や文章については、条件を満たす場合に限り、転載いただくことが可能です。ただし、当社が適切でないと判断した場合は、掲載の中止を求める場合があります。

<利用条件>

- ウェブサイトでの使用時には、出典としてアクサ損害保険の自動車保険トップページ (<https://www.axa-direct.co.jp/auto/>) へのリンクを設置してください。
- 出典元として「アクサ損害保険株式会社」の名称を明示してください。

本件に関するお問い合わせ先

アクサ損害保険株式会社

コミュニケーション・ブランド&サステナビリティ

03-6737-7200

9:00～17:00（土・日・休日を除く）

アクサ損害保険について

アクサ損害保険株式会社は、1998年に設立され、翌年7月より営業を開始し、現在は主に自動車・バイク保険を販売しているアクサのメンバーカンパニーです。個人のお客さまを対象とした「アクサダイレクト総合自動車保険」は好調な売上を続け、保有契約件数は100万件を超えています。

アクサグループについて

アクサは世界50の国と地域で154,000人の従業員を擁し、9,500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2024年の売上は1,103億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは80億ユーロ、2024年12月31日時点における運用資産総額は8,790億ユーロにのびります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は2024年1月～12月の業績です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

アクサ損害保険株式会社

コミュニケーション・ブランド&サステナビリティ

電話：03-6737-7200

URL：<https://www.axa-direct.co.jp/>
